

事項	計画の概要	推進状況						
		<p>◎ 内貿ユニットロードターミナルの整備(4年度ー) トラックから海運へのモーダルシフトを誘導するための内貿ユニットロードターミナルの整備を推進、5年度は内貿ユニットロードターミナルのエプロン幅を最大50mまでの範囲内に拡大、6年度は内貿ユニットロードターミナルにおける駐車場及びユニットロード貨物の荷捌きに必要な港湾施設用地の補助対象化を要求中。</p> <table border="0"> <tr> <td>平成4年度予算</td> <td>港湾整備事業費 6,273億円の内数</td> </tr> <tr> <td>平成5年度予算</td> <td>港湾整備事業費 8,919億円の内数</td> </tr> <tr> <td>平成6年度予算</td> <td>港湾整備事業費 6,645億円の内数</td> </tr> </table> <p>◎ バス利用促進のための道路整備(5年度ー) 交通の輻輳する都市部及びその周辺部におけるバスの使いやすさを向上させるため、バスレーンのカラー舗装化、バス停のハイグレード化、バス交通広場の整備を推進</p> <p>● 貨物特性に対応したモーダルシフトの推進方策に関する調査を要求(6年度ー) モーダルシフト推進のためには、鉄道・海運の輸送力増強等の一般的な物流対策と同時に、貨物の種別毎にその流通実態に応じた推進方策を検討する必要があるため、モーダルシフトの可能性の大きい複数の貨物をモデルとして選定し、それぞれの特性や流通形態等について調査を行った上で、鉄道・海上輸送の効率化方策及び荷主サイドにおけるモーダルシフト阻害要因の改善策を検討。 平成6年度予算 9百万円</p> <p>● 複合一貫輸送円滑化のための輸送用機器の仕様標準化調査を要求(6年度ー) モーダルシフト円滑化のため、鉄道・海運・トラックという異種モードをスムーズに一貫輸送するための輸送用機器のサイズ、コスト、管理方法等物流事業の見地からみた複合一貫輸送適合型輸送用機器を抽出し、仕様の標準化を行うとともに、標準的輸送用機器へ転換していくための問題点及び転換方法を検討。 平成6年度予算 8百万円</p>	平成4年度予算	港湾整備事業費 6,273億円の内数	平成5年度予算	港湾整備事業費 8,919億円の内数	平成6年度予算	港湾整備事業費 6,645億円の内数
平成4年度予算	港湾整備事業費 6,273億円の内数							
平成5年度予算	港湾整備事業費 8,919億円の内数							
平成6年度予算	港湾整備事業費 6,645億円の内数							

事項	計画の概要	推進状況
	<p>(3)大気、水質等の保全等のための施設の整備、野生生物の保護、自然公園、森林等自然とのふれあいに役立つ社会資本の整備。河川空間の再自然化、海域の浄化等環境の再生を進めるとともに水辺空間や緑の整備等により新たに良好な環境の創造を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道路審議会建議 (4.6.22施行) (第6章第3節2.(2)参照) ○ 「第11次道路整備5箇年計画」の策定 (5年度-9年度) (第6章第3節2.(2)参照) ○ 「治山治水緊急措置法」の改正(4.4.24 施行) 「第8次治山事業5箇年計画」の策定(4.9.1閣議決定)(4年度-8年度) (第4章第4節3.(2)参照) 「第8次治水事業5箇年計画」の策定(4.9.1閣議決定) (第4章第4節3.(2)参照) ○ 「森林整備事業計画」の策定(第9章第2節2.(3)参照) ○ 白神山地(青森, 秋田)の自然環境保全地域指定(4.7.10) ◎ 国土審議会調査部会「四全総総合的点検調査部会報告」(6.6.16 公表) <ul style="list-style-type: none"> ① 生物多様性の確保等を図るとともに多様な自然環境を地域の自然的、社会的特性に応じて体系的に保全 ② 都市において、失われた自然環境の回復や創出とそのネットワーク化 ③ 海域の浄化や人工海浜の造成等による自然の回復 ④ 生態系に配慮した緑地と水辺の整備やその適正な配置等を提言。 ○ 地方特定河川等環境整備事業の創設(4年度-) (第6章第3節1.(7)参照) ○ 瀬戸内海浅海域浄化機能基本調査の実施(5年度-) 瀬戸内海における浅海域の保全とその能力の効率的な利用に資するため、浅海域が有する浄化機能を定量化する調査を実施。 平成5年度予算 13百万円 平成6年度予算 13百万円 ○ 下水道関連特定治水施設整備事業の創設(5年度-) (第6章第3節1.(3)参照)

事項	計画の概要	推進状況
		<p>◎ 港湾における緑地等施設の整備 豊かで潤いのある港湾空間を創造するため、港湾施設の親水性の向上、多様化するレクリエーション需要への対応及び良好な景観の形成に配慮した施設を整備。 平成4年度予算 港湾整備事業費 6,273億円の内数 平成5年度予算 港湾整備事業費 8,919億円の内数 平成6年度予算 港湾整備事業費 6,645億円の内数</p> <p>○ 海域環境創造事業への汚泥浚渫の追加（5年度－） 良好な海域環境を創造するため、シーブループロジェクトに基づき海域環境創造事業を引き続き実施するとともに汚泥浚渫を追加。</p> <p>◎ 臨海部再開発促進事業の推進 臨海部において民間事業者が再開発事業として緑地等を整備する臨海部再開発促進事業の推進。（5年度－） 平成5年度財政投融资 日本開発銀行都市開発枠 2,600億円、地方開発枠 2,280億円及び北海道東北開発公庫 2,400億円の内数である港湾機能総合整備枠の内数 平成6年度財政投融资案 日本開発銀行都市開発枠 2,730億円、地方開発枠 2,380億円及び北海道東北開発公庫 2,500億円の内数である港湾機能総合整備枠の内数</p> <p>○ 「山村で休暇を」特別対策の実施(5年度－) (第4章第2節2.(1)参照)</p> <p>◎ 地球温暖化対策地域推進計画策定費の補助(4年度－) 特定地域において、二酸化炭素排出抑制に資する各種施設や技術を導入するための事業実施計画を策定する地方公共団体に策定費を補助。さらに平成5年度からは、地球温暖化対策を地域で推進するためのマスタープラン(推進計画)を策定する地方公共団体に策定費を補助。 平成4年度予算 38百万円 平成5年度予算 75百万円 平成6年度予算 75百万円</p>

事項	計画の概要	推進状況
		<ul style="list-style-type: none"> ● 市街地排水浄化対策モデル事業の創設(6年度一) 湖沼等の水質改善を図るため、晴天時における生活雑排水等による汚濁負荷及び初期雨水による市街地からの屋根、路面等の堆積物の流出による汚濁負荷を収集、貯留、処理するための施設の整備を行う「市街地排水浄化対策モデル事業」を創設。 平成6年度事業費 下水道事業費 30,147 億円の内数 ● 「第4次沿岸漁場整備開発計画」の策定(6年度-11年度) 基本目標①我が国周辺水域の水産資源・生産量の増大への取組の強化、②「青く豊かな海」の確保、③地域の活性化を図る総合的整備の促進(6.6.24閣議決定) 従来から、沿整事業では自然環境を活用した沿岸漁業の基盤整備を図るとともに、海洋環境の保全にも寄与しうるヘドロのしゅんせつ及び藻場・干潟の造成等を積極的に実施してきたところであるが、第4次沿岸漁場整備開発計画においては、「青く豊かな海」を確保するとの観点から、これらの事業をより一層重点的に実施。 (第9章第2節2.(4)参照) ● 流域浸透機能改善事業の創設 流域の保水・遊水機能の恒久的な維持・増進、地下水の涵養による河川の平常時流量の確保やヒートアイランドの緩和等を図るため、平成6年度より流域貯留浸透事業を拡充し、都市化の著しい河川の流域において、都道府県等が個人の住宅の敷地等に貯留浸透機能を持つ簡易な施設(浸透ます等)を設置する工事に対して助成。 平成6年度事業費 流域貯留浸透事業(補助) 4,275 百万円の内数

事項	計画の概要	推進状況
	<p>(4)公害問題について環境基準達成に向けた多角的な取組の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「自動車から排出される窒素酸化物の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法」の制定(4.6.3公布,4.12.1使用車種規制の部分を除いて施行、5.12.1使用車種規制の施行)及び同法に基づく施行令等の制定等大都市地域の窒素酸化物による大気汚染の現状にかんがみ、自動車から排出される窒素酸化物の削減に関する総合的な施策を講ずることにより、環境基準の達成を図るため、上記法律(自動車NOx法)を制定。 また、同法施行令(4.11.26公布)、同法施行令の一部を改正する政令及び同法施行規則の一部を改正する総理府令(5.3.26公布)を制定し、特定地域及び車種規制について規定。 さらに、自動車排出窒素酸化物の総量の削減に関する基本方針を策定(5.1.26閣議決定)し、同方針に基づき、関係都府県知事により策定された自動車排出窒素酸化物総量削減計画が内閣総理大臣により承認された。(5.11.26) ○ 水質汚濁に係る環境基準の一部改正(5.3.8,5.8.27公布)、水質汚濁防止法施行令改正(5.12.27,5.8.27公布) 水質汚濁に係る環境基準について健康項目の大幅拡充(5.3.8)及びこれに対応して排水基準の対象となる物質としてジクロメタン等13物質を追加(5.12.27)。また、海域の富栄養化防止のため海域の窒素及び磷に係る環境基準を設定する(5.8.27)とともに、排水基準の対象項目として海洋植物プランクトンの著しい増殖をもたらすおそれがある場合の窒素及び磷を追加(5.8.27)。 ○ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令及び海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律施行令改正(4.7.4) 特別管理廃棄物制度の導入等を内容とする「廃棄物処理法」の改正(3.10.5)を受け、特別管理廃棄物の収集、運搬、中間処分及び最終処分に関する基準の整備等を行う。 ○ 湖沼水質保全特別措置法施行令改正(4.10.21公布)及び2指定湖沼に係る第2期の湖沼水質保全計画策定(5.3.11) 2指定湖沼に係る窒素、磷の総合的対策の強化。

事項	計画の概要	推進状況
		<p>○ 自動車取得税の軽減措置の創設(5年度～12年度)及びエネルギー需給構造改革投資促進税制の創設(5年度-) 自動車NOx法で定める特定地域内での特定自動車排出基準適合車への買替え促進のための税制上の優遇措置(地方税及び国税)の創設。</p> <p>○ 中小企業環境規制対応特別貸付制度の創設(4.12.14-) 自動車NOx法で定める特定地域内での特定自動車排出基準非適合車を同基準適合車に代替する場合に中小公庫・国民公庫・商工中金から融資。</p> <p>◎ 自動車排出窒素酸化物総量削減対策の推進(5年度-) 自動車NOx法に基づく自動車排出窒素酸化物の削減効果の的確な把握や、同法の運用指導、普及・啓発等の実施。 平成5年度予算 40百万円 平成6年度予算 40百万円</p> <p>● 交差点等における窒素酸化物高濃度汚染に対する直接浄化対策検討調査の実施(6年度-) 自動車NOx法に基づく総量削減対策のみで環境基準を達成することが難しい局地的に極めて高濃度となる地域について、直接浄化に関する技術開発の状況等を調査し、実用可能性と課題について検討。 平成6年度予算 20百万円</p> <p>◎ 海上公害対策の充実強化 多発する油等による海洋汚染に対処し、「1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978年の議定書」への加入に伴う改正国内法に対応できる体制及び水質環境基準の設定等に伴う監視取締り体制の充実強化 平成5年度予算 138百万円 平成6年度予算 145百万円</p>

事項	計画の概要	推進状況
第10章 発展への基礎的条件の整備 第1節 科学技術の振興		<ul style="list-style-type: none"> ○ 「科学技術政策大綱」(4.4.24閣議決定) 民間の研究開発投資の充実の支援や財政事情を踏まえた政府の研究開発投資の早期倍増など研究開発投資の充実、研究活動の活性化と創造性の発揮、研究開発基盤の強化、国際共同研究開発の推進やメガサイエンスへの取り組みなどの「国際的な科学技術活動の強化」等を提示。 ○ 産業技術審議会企画委員会報告「テクノグローバリズムの推進とセンター・オブ・エクセレンスの多面的醸成」(4.6.22) わが国研究開発体制の構造的強化、基礎的独創的研究の充実及び産業科学技術による国際貢献に係る具体的対応策の推進を提言。 ○ 学術審議会答申「21世紀を展望した学術研究の総合的推進方策について」(4.7.23) 我が国の学術研究基盤を国際的水準に引き上げること为目标として、①学術研究基盤の計画的整備、②世界に開かれた学術研究体制の整備、を図ることに重点を置いて総合的な施策を積極的に展開する必要がある旨提言。 ○ 「ソフト系科学技術に関する研究開発基本計画」(5.1.11 内閣総理大臣決定) 人間社会の視座を重視した総合的科学技術として重要性の増しているソフト系科学技術に関し、①推進に当たっての基本的考え方、②知的活動支援、感性の解明等による生活環境の快適性等の向上、ハードウェアと人間や社会との調和等の重要研究開発課題、③自然科学から人文・社会科学にわたる広範な研究交流や研究開発センター等の研究開発体制の整備・充実等の研究開発推進方策について、研究開発基本計画を策定。 ○ 産業技術審議会研究開発指針委員会報告「産業科学技術研究開発指針」(6.6.14) 研究開発に係る人材、施設・設備、知的財産権、標準化等の多岐にわたる「研究開発基盤(テクノインフラ)」の整備、工技院研究所、プロジェクト、民間支援の在り方、分野毎の技術動向と今後の技術開発の方向等、通産省に関する産業科学技術研究開発の方向性と進め方を総合的に提示。

事項	計画の概要	推進状況
	<p>(1)官民を通じた研究開発投資構造の改善</p> <p>(2)研究開発体制の見直し</p>	<p>◎ 中核的研究拠点 (COE) 育成制度の創設 (5年度一) 国立試験研究機関等がCOE化を目指す際に、試験研究・研究支援体制の充実、外部研究者の受入れ、的確な評価体制の確立を支援。 平成5年度予算 科学技術振興調整費 133億円の内数 平成6年度予算 科学技術振興調整費 155億円の内数</p> <p>○ フロンティア研究制度の実施 (61年度一) 21世紀の根幹となる新しい科学技術の基盤形成のため、国際的に開かれた体制のもと、多分野の研究者を結集し長期的・組織的に未踏の分野を開拓する制度を理化学研究所において実施。 平成5年度予算 2,701百万円 平成6年度予算 3,213百万円</p> <p>◎ 科学技術関係経費の推移 平成4年度及び5年度の科学技術関係経費総額の伸びは、高い伸びを続けている。 平成4年度予算 21,347億円 (対前年度 5.5%増) 平成5年度予算 22,663億円 (" 6.2%増) 平成6年度予算 23,585億円 (" 4.1%増)</p> <p>◎ 研究開発促進税制の拡充 民間における研究開発活動のより一層の活性化を図るため、種々の税制上の優遇措置を実施。平成5年度には、各種税制の適用期限の延長や対象拡充とともに、官民の共同研究開発の促進を図るため、国との共同試験研究に係る税制措置を創設。さらに、平成6年度には、技術面での国際貢献を積極的に進めていくため、我が国企業と外国試験研究機関との国際共同試験研究に係る税制措置を創設。</p> <p>○ 大学審議会組織運営部会報告「組織運営部会における審議の概要 (その1) 教員の人事の活性化について—教員採用を中心に—」(5.5.20) (第10章第2節(3)参照)</p>

事項	計画の概要	推進状況
	<p>(3)基礎研究の重点化、大学・国立試験研究機関の施設・設備の充実</p>	<p>○ 研究交流促進法の改正 (4.7.1 施行) 科学技術に関する国の試験研究について、国と国以外の者との間の交流を一層促進するため、研究公務員の任期を定めた採用、国の委託に係る特許権等の取扱の特例措置を規定し、国有試験研究施設の廉価使用の要件を緩和。</p> <p>○ 新技術事業団法の改正 (5.10.1 施行) 研究者の交流の促進に関する業務等を追加することにより、研究交流を総合的に促進するための体制を整備。 法改正関連予算 757百万円</p> <p>○ 産業科学技術研究開発の推進 (5年度) 大型工業技術研究開発制度、次世代基盤技術研究開発制度等を統合し、基礎的独創的領域の研究開発及び公共・社会・福祉領域の研究開発等を実施する産業科学技術研究開発制度を創設。</p> <p>◎ 研究基盤重点設備の整備 (5年度一) 優れた研究実績を有する国立大学等の研究組織に対し、基盤的研究設備の整備を図り、その研究環境の充実と高度化を推進。 平成5年度予算 3,630百万円 平成5年度補正 3,983百万円 平成6年度予算 4,630百万円</p> <p>◎ 「特別施設整備事業」の実施 (4年度一) 国立大学施設の老朽化・狭隘化の解消のため、国立学校特別会計に「特別施設整備資金」を設置し、その仕組みを活用して「特別施設整備事業」を実施。 平成4年度予算 200億円 平成5年度予算 200億円 平成6年度予算 200億円</p> <p>○ 国の試験研究機関の研究施設の整備 (4年度一) 老朽化対策並びに高度化を図るため、国の試験研究機関の施設等の整備を促進。4年度補正、5年度補正においても、施設の整備を着実に実施。</p>

事項	計画の概要	推進状況
	<p>(4)文献情報の流通促進等</p> <p>(5)研究者の質的・量的な充実等</p>	<p>◎ キャンパス情報ネットワーク (学内LAN) の整備 (4年度一) 学内の各種コンピューターの結合を図り、多様かつ高度な情報通信を行う 学内LANを全国の国立大学等に整備。 平成4年度予算 159百万円 平成5年度予算 100百万円 平成5年度補正予算 29,648百万円 平成6年度予算 1,288百万円</p> <p>● 大型放射光施設 (Spring-8) の開かれた利用の促進 (6年度) 科学技術のできる限り幅広い範囲において公平かつ競争的な環境下で、国 内外の研究者に対して開かれた施設となるように体制整備を開始。</p> <p>◎ 日本科学技術情報センターの活用 (53年度一) 文献データベース、ファクトデータベース等の構築並びにオンラインによ る利用を促進。 平成4年度予算 5,695百万円 平成5年度予算 6,342百万円 平成6年度予算 7,163百万円</p> <p>◎ 産業技術の歴史の継承と創造的活用 (5年度一) 産業技術の歴史を継承し、若者をはじめ国民に対して産業技術の魅力を伝え るとともに、効果的な研究開発の促進、優れた研究人材の育成等への創造 的活用を図る体制整備の検討中。 平成5年度予算 36百万円 平成6年度予算 36百万円</p>